

## 事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域（地区）名	<small>しずおか</small> 静岡	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	静岡県	対象市町村	<small>しずおかし</small> 静岡市ほか5市町
事業実施期間	R2年度～R6年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域の北部は日本第3位の標高を有する間ノ岳（3,190m）を起点に、そこから3,000m級の山脈が連なっており、極めて急峻な地形を形成している。南に向かって徐々に高度を下げ、下流の平野部には丘陵地、台地及び扇状地帯の緩傾斜地形を形成し、駿河湾に至っている。</p> <p>本地域の森林面積は、187,590haで区域面積の72%を占め、このうち民有林の人工林率は52%であり、人工林の割合は県平均より若干低くなっているが、大井川中流域、安倍川及び藁科川流域では、ヒノキやスギを主体とする林業地帯を形成している。人工林の齢級別内訳は、Ⅰ～Ⅷ齢級が11%、Ⅸ齢級～Ⅻ齢級が48%、ⅩⅢ齢級以上が41%となっており、高齢級の人工林を皆伐し、再造林を行うなど森林資源の循環を図る必要がある。</p> <p>また近年、利用間伐等の推進により森林の整備が進んだ一方で、集約化が進まない地域の森林では、水源涵養機能等の森林の有する多面的機能の低下が危惧される。</p> <p>そのため、森林経営計画の策定促進と併せて本事業を実施することで適正な森林整備や路網整備、森林資源の有効活用を進め、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させる。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：1,630ha</p> <p style="text-align: center;">人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：林道開設 6,290m</p> <p>総事業費：2,384,710千円（税抜き2,167,918千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.20</p> <p>（総便益（B）=11,057,253千円、総費用（C）=2,633,769千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林の有する多面的機能の維持・増進を図るためには、本事業により計画的に施業を集約化し、森林整備の推進を図る必要があり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：適切な森林整備により水源涵養等の公益的機能が持続的に発揮されるとともに、林道開設により将来の優良材の安定生産が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：静岡県

地域(地区)名：静岡<sup>しずおか</sup>

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	2,094,055	
	流域貯水便益	743,680	
	水質浄化便益	2,610,156	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,272,375	
環境保全便益	炭素固定便益	620,646	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	234,060	
	木材利用増進便益	75,018	
	木材生産確保・増進便益	1,132,580	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,274,683	
総 便 益 (B)		11,057,253	
総 費 用 (C)		2,633,769	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,057,253}{2,633,769} = 4.20$		

# 森林環境保全整備事業 静岡地域（静岡県） 概要図

